


ふりがな 氏名	すぎかわ こうた	都道府県	広島県	
	杉川 幸太			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・広島大学大学院工学研究科 助教 ・大学教育を考える会 			
私のESD活動	大学のボトム(学生と教職員)からの本質的な大学教育改革を目指し、考えて行動する場の提供を目指します			
ESD活動を表すキーワード	教育改革	大学教育	教職員	

活動の概要 (特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください)

■問題意識・・・私は広島大学で化学を専門とした教員(助教)です。大学教員の役割は研究と教育ですが、大学入試改革に端を発する教育改革が急ピッチで進むことが予想される現代において、大学の教育的役割の比重が大きくなることが予想されます。ところが、ほとんどの大学教員は研究者としての教育しか受けておらず、教育者としては素人です。入学してくる学生も社会に存在している課題も多様化する中で、「良い研究＝良い教育」という一辺倒な教育だけでは、学生がこれからの社会で生き抜く力を養うことはできません。私は大学教育に「本質的な改革」を起こすために下記のESD活動を行っています。

■活動内容・・・上記課題の解決を目指すにあたり、私は「大学教職員」に注目しました。学生と直接関わることができるのは教員だけです。どんなに素晴らしい大学改革案も、教職員の主体的関与なしには本質的な改革にはつながりません。私は「大学教育を考える会」を立ち上げ、「大学教職員から大学教育を変える」ことを目指し活動を行っています(参考 URL1)。この会の特徴は①大学教職員が自身の教育的取り組みを発表(共有)することができる(教育的活動が評価される場づくりの一環)、②その発表に対して大学内外の専門家からアドバイスを受けることができる、③大学教職員以外(学生、民間企業、省庁関係など)の参加者が半数近くを占める、ことです。

スタートして1年足らずの活動ですが、この会への参加をきっかけに大学教職員向けのワークショップや、高校生が大学に行く意味を考える場づくりを目指した活動(参考 URL2)がスタートしており、確実に大学と社会を繋ぐプラットフォームになってきています。

・参考 URL1 www.facebook.com/think.edu.2014

・参考 URL2 <https://sites.google.com/site/eduatcollege/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

まずは現在行っている「大学教職員から大学を変える」ための仕組み、つまり①大学教職員の教育的活動が評価される場＋②今の大学に求められる教育を提供するための具体的スキルが身につく場＋③大学と社会がつながる場、の構築を進めていきます。最も難しいのは「評価される場」にすることです。現状、どんなに教育に力を入れても大学内での評価には反映されません。この現状を変えるために、大学教職員の教育的活動を紹介するwebコンテンツの作成(社会的評価の場)と、企業および文科省と連携したコンペの開催(大学内の評価システム(業績)に記載できる発表の場)を目指しています。また、大学教職員が学生の声を聞くことも大切だと考え、大学生や高校生と大学教職員が議論を行う場づくりも計画しています。これにより、学生に大学の正しい情報を伝えることも可能になると考えています。そして、これらの活動を行うための資金調達も行っています。